

高崎市地域福祉通信

第 9 号

平成20年9月1日発行

「地域福祉活動計画素案」について話し合いました

今回の会議では、社会福祉協議会のワーキンググループが作成した地域福祉活動計画素案のうちの2つの重点活動を題材として、分科会ごとに議論を行い、意見やアイデア等を出し合いました。

第9回地域福祉市民会議の内容

第9回市民会議は、8月19日（火）午後1時30分から3時30分頃まで、市役所3階31会議室において開催され、34人の市民会議委員にご出席いただきました。

今回の会議では、7月に開催した第4回座長・副座長会議と8月に開催した第2回策定委員会について、事務局から報告を行い、その他として事務局が地域福祉(活動)計画全体のキャッチフレーズの提案を行いました。

その後、分科会ごとにグループ討議を行い、社協ワーキンググループが提案した「公益活動の支援」「ふれあい・いきいきサロンの推進」の2つの重点活動について、意見や具体的な活動のためのアイデア等を出し合いました。

(当日の主な内容)

- 委員長あいさつ
- 第4回座長・副座長会議の説明
- 第2回地域福祉(活動)計画策定委員会の説明
- その他(計画全体のキャッチフレーズについて)
- 地域福祉(活動)計画素案の審議及び地域福祉(活動)計画ワークシートの見直しについて(グループ討議)
- アドバイザーによる総括コメント



(グループ討議の様子)



(金井先生のコメント)

次回以降の予定

今回の第9回会議から、地域福祉活動計画の審議に入りました。

次回の市民会議では、地域福祉(活動)計画全体のキャッチフレーズについて意見交換をした後に、社協が用意する重点活動について、より踏み込んだ具体的な議論していただきたいと考えています。

地域福祉(活動)計画キャッチフレーズについて (案)

- ・ たすけあい かかわりあって ささえあう
きずなでつくる しあわせのまち
- ・ 誰もが住みなれた地域で安心して暮らせる福祉のまちづくり
- ・ みんなで育てる しあわせづくり計画
- ・ 私たちが創るたかさき、安心して暮らせる、支えあいのあるまち
- ・ みんなでつくろう すみたいまち しあわせなまち たかさきし
- ・ みんなが輝き 支え合いながら
大好きなこの街で 暮らしていきたいな
- ・ 感動と 親切つなぐ 高崎市
- ・ みんなで思いやりの社会つくるんべえ 等

※ 第9回市民会議におけるアドバイザーの講評

- ・ 委員を地域ごとに分けて、同じ課題を議論してもらうのが重要ではないか (細井先生)
- ・ 地域性や地域間の情報交換をした方がよい (細井先生)
- ・ 事業を展開することで、5年後の高崎市はどのような姿になるのか絵を描くことが地域福祉活動計画といえる (金井先生)
- ・ 地域福祉活動計画では、事業を行う者・財源等について、具体的な姿を提示することが重要である (金井先生)